

国語力は？

JJ1SXA/池

8月24日(2013年)文化庁が平成24年度「国語に関する世論調査」の結果の概要を公表しました、新聞やTVで見たとと思いますが、自分の国語力を試して見ましょう、設問は以下の10項あります。

1. 人とのコミュニケーションについて

誰かの話を聞いていて、その人の言いたかったことと、自分の受け取ったことが食い違っていたという経験があるか、ないか

2. 外来語や外国語などのカタカナ語の使用について

日頃、読んだり聞いたりする言葉の中に、外来語や外国語などのカタカナ語を使っている場合が多いと感じるか

3. 国語に関わる知識や能力についての課題

社会全般の国語に関わる知識や能力には、どのような課題があるか
自分自身の国語に関わる知識や能力には、どのような課題があるか

4. 文字の手書きについて

ふだん、手書きで文字を書く方か

5. 手紙の作法について

今後、手紙の作法はどうあるべきだと思うか

6. 言葉の意味や使い方が分からないときにどうするか

言葉遣いに迷ったり、言葉の意味や使い方が分からなかったりしたときに、どのようにしているか

7. 同訓の漢字の使い方について

文章を書くときに、漢字の選び方で迷うことがあるか、それとも、ないか
漢字に直すとしたらどれを使うか

8. 五つの言い方の認知と使用

「きんきんに冷えた」「サクサク動く」など五つの言い方を聞いたことがあるか、また、使うことがあるか

9. 言葉の意味

どちらの意味だと思うか

10. 慣用句の言い方

どちらの言い方を使うか

こんな設問ですが、8番の五つの言い方の認知と使用の例文は、次のものです、
「きんきんに冷えたビール」・「パソコンがさくさく動く」・「ざっくりとした説明」・
「気持ちがほっこりする」・「うるうるとした瞳」

9番の言葉の意味(どちらの意味だと思うか)の回答には一寸考えさせられました。
設問は6つです、あなたはどちらの解答を選びますか？

「役不足」 例文:彼には役不足の仕事だ

本人の力量に対して役目が軽すぎること

本人の力量に対して役目が重すぎること

「流れに棹さす」 例文:その発言は流れに棹さすものだ

傾向に乗って,ある事柄の勢いを増すような行為をする

傾向に逆らって,ある事柄の勢いを失わせるような行為をする

「気が置けない」 例文:その人は気が置けない人ですね

相手に対して気配りや遠慮をしなくてよい

相手に対して気配りや遠慮をしなくてはならない

「潮時」 例文:そろそろ潮時だ

ちょうどいい時期

ものごとの終わり

「嘖飯もの」 例文:彼の発言は嘖飯ものだ

おかしくてたまらないこと

腹立たしくて仕方がないこと

如何ですか？上段の語句が本来の意味です、回答内容を見ると、「潮時」以外は比率が逆転しています。

「役不足」→ 41.6% 対 51.0%

「流れに棹さす」→ 23.4% 対 59.4%

「気が置けない」→ 42.7% 対 47.6%

「潮時」→ 60.0% 対 36.1%

「嘖飯もの」→ 19.7% 対 49.0%

10番の慣用句の言い方(どちらの言い方を使うか)でも結構間違った使い方をしていくようです、例題は次のもので前の語句が本来の意味です。(括弧内は回答比率)

取り付く島がない(47.8%) / 取り付く暇がない(41.6%)

押しも押されぬ(48.3%) / 押しも押されぬ(41.5%)

的を射る(52.4%) / 的を得る(40.8%)

伝家の宝刀(54.6%) / 天下の宝刀(31.7%)

怒り心頭に発する(23.6%) / 怒り心頭に達する(67.1%)

皆さん、自分の国語力は如何ですか？国語力を磨きましょう。